

作業補足シート

5 : 4 7

分野	端末処理	作業名	Cat.6 モジュラープラグの成端
目的	Cat.6 モジュラープラグの成端を行う。		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. ブーツの挿入	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめブーツとカラーをケーブルに挿入しておく。 		0 : 2 4
2. ケーブル外被をカット	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル外皮をカットする位置を軽くもんでおくと外皮と内側の心線が分離し、カットする際に心線に傷が入りにくくなる。 ケーブルストリッパでケーブル外被を先端から約40mmの位置に切れ込みを入れ除去する。 リップコードを被覆剥ぎ取り際でカットする。 		0 : 4 1
・ 十字介在をカット	<ul style="list-style-type: none"> 心線を傷付けないように注意してニッパーで切れ込みを入れ除去する。 		1 : 0 6
・ ディバイダーの挿入	<ul style="list-style-type: none"> 心線の撚りを解き、ディバイダーを向きに十分注意し、十字介在の中心に差し込む。 規格の色順番に従い（ここでは T568B）、心線をディバイダーに差し込む。 ディバイダーの V 溝で緑色対の心線を分岐させる。 		1 : 3 6
3. 心線を整線しカット	<ul style="list-style-type: none"> 心線のよりを戻して真っ直ぐになるよう整線し、次のスリーブ（ロードバー）に通し易いように斜めにカットする。 		2 : 4 6
・ スリーブの挿入	<ul style="list-style-type: none"> ディバイダーとの隙間ができないようにスリーブを挿入する。 スリーブの平らな面が上側になるように注意する。このとき、正面から見て右側が茶色の心線となる。 		3 : 1 7
4. 余分な心線をカット	<ul style="list-style-type: none"> スリーブの先端（面一）で余分な心線をカットする。 		3 : 5 6
5. プラグハウジングを挿入	<ul style="list-style-type: none"> 再度、ディバイダーとスリーブとの隙間がないか、規格の色順番が合っているかを確認し、プラグハウジングを挿入する。 手では最後まで押し込むことはせず、軽い力で仮止めするように挿入する。 成端補助工具を用いてカラーとプラグハウジングに隙間ができないよう最後まで押し込み圧着する。 		4 : 3 0

・ プラグハウジングを 圧着	・ 圧着工具を用いてしっかりと圧着する。	5 : 0 8
6. プラグハウジングに ブーツを挿入	・ プラグハウジングにブーツを挿入する。	5 : 2 6
使用器具	圧着工具 (PANDUIT MPT5E)、ニッパー、ケーブルストリッパ (日本製 線 NSWST-M)、成端補助工具 (PANDUIT CSPT)	
使用材料	モジュラープラグ (PANDUIT SP688-C)、Cat.6 UTP ケーブル	
最終更新日	2022/03/07	